

見積参考資料

芸西村

(金抜)

3 災 (農) 第307-101号

高知県 安芸郡芸西村 和食乙

農業用施設災害復旧事業 津野地区災害復旧工事 実施設計書

作業区分 請負

完成期限 令和 4年 8月31日

工種区分 水路工事

施工地域区分 中山間地域

令和 4年 4月 1日 積算単価適用

単価適用地区 安芸土木事務所 1 地区(南部地区)

- ・ 「見積参考資料」は入札参加業者の迅速で適正な工事費の見積りのための一資料であり、請負契約を拘束するものではない。
- ・ 入札においては「見積参考資料」に記載された事項を最優先するものとし、その他の閲覧資料との表示に違いがある場合においても、入札の公正性が確保される範囲で入札事務を継続するものとする。
- ・ 「見積参考資料」に記載されている積算に関する事項については、契約後、必要に応じて建設工事請負契約書の規定に基づき、協議を行う場合がある。

特記仕様書

第1条 土木工事共通仕様書の適用

1 本工事の施工にあたっては、「高知県建設工事共通仕様書」に基づき実施しなければならない。

但し、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改訂された最新のものとする。なお、工事途中で改訂された場合は、この限りではない。

第2条 環境物品等の調達推進（グリーン購入法）

1 本工事において「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」（グリーン購入法）及び「高知県グリーン購入基本原則・基本方針及び実施計画」に基づき重点調達品目について積極的な利用をすること。なお、重点調達品目の中で木材・木製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法令に照らして合法なものを使用することとする。

第3条 県内産資材の優先使用

1 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。

なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督員の確認を受けること。また、検査時に県外産資材を使用した理由を検査職員に説明すること。

注1：県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。

ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたもの、③木製型枠は、高知県内の森林から生産された木材で製造されたものとする。

注2：県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。

第4条 木材等を使用した公共土木施設の実績調査

1 本工事の受注者は、木材の利用の有無を問わず「木材等を使用した公共土木施設の実績調査表」を作成し提出しなければならない。

なお、調査表の作成要領、提出は以下のとおりとする。

2 調査表の作成要領、提出について

(1) 調査様式（木材・木製型枠・木製看板を利用した公共土木工事実績調査表）、を高知県ホームページ（<https://www.pref.kochi.lg.jp/>）林業振興・環境部木材産業振興課のページから、ダウンロードする。

(2) 記載要領を参考に必要事項を調査様式に記入し、電子納品物に格納し提出する。なお、紙納品の場合は、工事管理資料とは別にCD-R等に納めて工事完成後7日以内に監督職員へ提出すること。

第5条 個人情報の保護

1 受注者は、この契約による工事を施工するための個人情報の取扱いについては、高知県個人情報保護条例を遵守すること。

参考）個人情報保護制度に関するアドレス：

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/110201/joko-kojin-index.html>

第6条 ダンプトラック等による過積載の防止

1 積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

2 さし枠装着車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

3 過積載車両、さし枠装着車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。

4 取引関係のあるダンプトラック事業者が過積載を行い、またさし枠装着車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

5 建設発生土の処理及び資材の購入等にあたって、下請け業者及び資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

6 以上のことにつき受注者は、下請け業者を十分に指導すること。

第7条 軽油単価の適正な運用

1 本工事において、受注者もしくは受注者の下請業者等が使用する建設機械の動力源に使用する軽油において、軽油引取税の課税対象の免許証の交付及び承認がある場合は、すみやかに発注者に報告しなければならない。また、その場合、該当する建設機械に使用する軽油単価は免税後の単価に変更するものとする。

第8条 不正軽油の使用禁止

1 受注者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。

注：不正軽油とは、地方税法第144条の32の規定による県知事の承認を受けずに製造又は譲渡された次のものをいう。

① 軽油と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和したもの

② 軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）と軽油以外の炭化水素油（重油、灯油等）を混和して製造されたもの

③ 自動車の燃料として譲渡・消費される燃料炭化水素（重油、灯油等）

2 受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければなら

特記仕様書

らない。

第9条 再生資源利用（促進）計画書及び実施書の提出

- 1 受注者は、建設資材の利用量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円以上の場合、再生資源利用計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式1）を建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）により作成し、施工計画書と併せて提出しなければならない。
- 2 受注者は、建設副産物の発生量・搬出量の大小に関わらず工事請負代金額が100万円以上の場合、再生資源利用促進計画書及び実施書（建設リサイクルガイドライン様式2）をCOBRISにより作成し、施工計画書と併せて提出しなければならない。
- 3 COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ（<https://www.recycle.jacic.or.jp>）より、利用申請等を行うことができる。
- 4 受注者は、再生資源利用（促進）計画書及び実施書を工事完了後1年間保存すること。

第10条 産業廃棄物管理票等の提出

- 1 受注者は、本工事に伴い発生する産業廃棄物（以下「産業廃棄物」という。）について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃掃法」という。）を遵守し、工期内に最終処分（埋立処分、海洋投入処分、又は再生）を終了しなければならない。また、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に処理されていることを確認するとともに発注者にそのE票の確認を受けなければならない。

ただし、廃掃法を遵守したうえで、工期内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、発注者が認める場合においては、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとするが、最終処分終了後すみやかに発注者にその旨を報告しなければならない。この場合、受注者は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに発注者にそのB2票の確認を受けなければならない。また、最終処分終了後すみやかにE票の確認を受けなければならない。なお、廃掃法に定める電子情報処理組織を使用する場合は、監督職員と別途協議するものとする。

第11条 建設副産物対策（建設副産物処理の数量確認）

本工事において、現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から建設副産物を搬出する場合、受注者は、搬出時等に以下のいずれかの作業を行い撮影したデジタル写真（電子データ）等を設計数量の確認資料として、監督職員に提出等をするものとする。

（作業内容）

（1）建設副産物の処理数量を重さ（「t」）の単位とする場合

- ①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（各積載重量別車両毎に1工程以上（以下「代表写真」という。））
- ②受注者は、①の全車両について処理施設に設置されているトラックスケールにて、重さを測定し、レシート等の記録を保管する。
- ③受注者は、監督職員に①の電子データを提出し、②の記録を提示する。

（2）建設副産物の処理数量を体積（「m³」）の単位とする場合次の1）から3）のうち、いずれかの方法により確定する。

- 1）コンクリート殻、アスファルト殻及び土砂など地山の状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができるものは、地山測定による設計数量の確定をする。

受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載し（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）、工事黒板と荷姿、運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。（代表写真）

- 2）前記「（1）建設副産物の処理数量を重さ（「t」）により確認する場合」により重さを測定し、換算係数を用いて体積を算出して設計数量を確定する。

- ・コンクリート塊（鉄筋）2.5 (t/m³)
- ・コンクリート塊（無筋）2.35 (t/m³)
- ・アスファルト塊2.35 (t/m³)
- ・掘削土（土砂）1.8 (t/m³)
- ・掘削土（軟岩）2.2 (t/m³)
- ・掘削土（硬岩）2.5 (t/m³)

- 3）地山状態または、建設発生木材（伐採木を含む）を山積みした状態等で体積確認ができずに、掘削や取壊しなどを行った場合は、現場外への搬出の際に以下により確認する。

- ①受注者は、建設副産物を現場内（現場外に仮置きした場合は積替保管場所）から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する（運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。）。（全車写真）
- ②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ

特記仕様書

等のスケールをあてデジタル写真撮影をする。(全車写真)

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。(全車写真)

④受注者は、監督職員に②③の電子データを提出する。

(3) 受注者と処理施設との間の処理数量を「台数」による契約とする場合

①受注者は、建設副産物を現場内(現場外に仮置きした場合は積替保管場所)から搬出する時、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する(運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。)(全車写真)

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるようリボンテープ等のスケールをあてデジタル写真撮影をする。(全車写真)

③また、②の状態のまま運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。(全車写真)

(4) 建設副産物(建設発生木材(伐採木を含む))を木材市場等に搬出する場合

①受注者は、木材を現場内(現場外に仮置きした場合は積替保管場所)から搬出する時に、工事黒板に運搬車のナンバー、出発時刻を記載する。

(木材市場等まで運搬を他者に委託する場合は、マニフェスト交付番号も記載する。ただし、伐採木の売却を目的とした伐採木の枝打ち、玉切り等の加工、選別をしたものは、マニフェスト交付番号の記載は必要ない。)

②受注者は、①の工事黒板と併せ、積荷の体積が確認できるよう運搬車のナンバーが写るよう運搬車後面のデジタル写真撮影をする。(代表写真)

③受注者は、監督職員に②の電子データを提出し、木材市場等の受入伝票等を提示する。

第12条 監督職員による検査(確認を含む)及び立会等

1 工事の施工について、監督職員の立会を要する工種は施工計画打合せにより定めるものとする。

第13条 デジタル工事写真の小黑板情報電子化

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入及び、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事(以下、「

対象工事」という。)とすることができる。対象工事では、以下の1から4の全てを実施することとする。

1 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「使用機器」という。)については、高知県建設工事技術管理要綱の第9条(写真管理)2撮影基準に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、URL「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」を参照すること。ただし、使用機器を限定するものではない。

2 デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、前項1の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、高知県建設工事技術管理要綱の第9条(写真管理)2撮影基準による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、高知県建設工事技術管理要綱の第9条(写真管理)及び高知県電子納品運用に関するガイドライン第5.1版(工事編)の表2-1電子納品に関連する要領・基準に定めるデジタル写真管理情報基準に準ずるが、前項2に示す小黑板情報の電子的記入については、高知県電子納品運用に関するガイドライン第5.1版(工事編)の5-3.デジタル写真の編集で規定されている写真編集には該当しない。

4 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、前項2に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真(以下、「小黑板情報電子化写真」という。)を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。なお納品時に、受注者はURL(<https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用い

特記仕様書

て、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

第14条 施工管理

1 品質管理は「高知県工事技術管理要綱 品質管理基準」により実施し、その他の試験区分に係る試験項目は下記の項目とし、これら以外についても必要に応じて試験を行うものとする。

第15条 排出ガス対策型建設機械

1 本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領」（平成3年10月8日付建設省経機発第249号 最終改正平成14年4月1日付国総施第225号）」、排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程（国土交通省告示第348号、平成18年3月17日）」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日付け国総施第215号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成17年法律第51号）」に基づき、技術基準に適合するものとして届出された特定特殊自動車を、本工事において使用する場合はこの限りではない。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明等により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は監督職員と協議するものとする。また、請負金額（税込み）が5千万円以下の工事については、未対策型建設機械を所有しており、新たな出費を強いられる等の理由がある場合は、施工計画打ち合わせ時に監督職員と協議し、止むを得ないと判断された場合は、未対策型建設機械を使用することができるものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、受注者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、電子納品の際に施工状況写真に格納すること。

機 種

- ・バックホウ
- ・トラクタショベル（車輪式）
- ・ブルドーザ

- ・発動発電機（可搬式）
 - ・空気圧縮機（可搬式）
 - ・油圧ユニット（次に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）
 - ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ
 - ・ホイールクレーン（ラフテレーンクレーンを含む）
- ※対象はディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。

第16条 設計図書の変更

1 設計変更等については、建設工事請負契約書第18条から第20条及び第22条から第25条並びに高知県建設工事共通仕様書共通編1-1-1-13から1-1-1-15に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「建設工事請負契約における設計変更ガイドライン（令和2年4月（高知県土木部）」によることとする。

第17条 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。

第18条 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る措置

1 本工事において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合は、監督職員と協議の上、必要と認められる費用については、変更契約できるものとする。

なお、実施にあたっては、施工計画書に実施内容および実施期間を明記するとともに、履行状況について、写真等により監督職員に報告すること。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、工期の延長が必要な場合には、監督職員と必要期間を協議し、変更できるものとする。

2 上記1により変更契約した金額が、他の契約（県以外も含む）と重複した金額であってはならない。なお、変更契約後に他の契約（県以外も含む）との重複が判明した場合は、減額変更または返納を求める場合がある。

第19条 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について

1 本工事は熱中症対策に資する現場管理費の補正の対象工事である。実施にあたっては下記のホームページを参照すること。

特記仕様書

高知県土木部技術管理課ホームページ

(<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/170601/>)

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 3災(農)

第307-101号

明示事項(説明書)

【工程関係】

1. 他の工事による施工時期及び全体工期等への影響・・・・・・・・無

2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限・・・・・・・・無

3. 当該工事の関係機関との協議の未成立事項・・・・・・・・無

4. 他官庁等の特定条件による影響・・・・・・・・無

5. その他・・・・・・・・無

【用地関係】

1. 工事用地等の未処理部分・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 3災(農)

第307-101号

明示事項(説明書)

2. 仮設ヤード等に官有地及び発注者借り上げ地の使用・・・・・・・・無

【安全対策関係】

1. 交通安全施設等の指定・・・・・・・・無

2. 近接する公共施設・・・・・・・・鉄道・ガス・電気・電話・水道・・・・・・・・無

3. 防護施設の必要・・・・・・・・落石・土砂崩落・・・・・・・・無

4. 発破作業等の保安設備及び保安要員の配置の指定・・・・・・・・無

5. 発破作業等の制限・・・・・・・・無

【工事用道路関係】

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 3災(農)

第307-101号

明示事項(説明書)

1. 一般道路を搬入路として使用する場合

(1) 経路、期限の制限・・・・・・・・無

(2) 使用中及び使用後の処置・・・・・・・・無

2. 仮設路を設置する場合

(1) 安全施設等の設置の必要・・・・・・・・無

(2) 工事終了後の措置・・・・・・・・撤去

(3) 維持及び補修の必要・・・・・・・・無

3. 一般道路の占用の必要・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 3災（農）

第307-101号

明示事項（説明書）

【仮設備関係】

1. 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を次年度に使用又は転用、兼用の予定・・・・・・・・無

2. 仮設備の構造、施工方法の指定・・・・・・・・無

3. 仮設備の設計条件・・・・・・・・無

【建設副産物関係】

1. 残土の捨土条件・・・・・・・・無

2. 建設副産物の現場内での再利用及び減量化が必要・・・・・・・・無

3. 産業廃棄物の処理条件（*処理を委託する場合は、委託契約条件締結のうえマニフェストを使用のこと）
 - (1) 処理場所 近隣市町村 運搬距離：L=15.7km
処理方法（指定）：中間処理
処理場の受入条件：無筋、鉄筋コンクリート殻

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 3災（農）

第307-101号

明示事項（説明書）

※上記については、「処理方法」は指定とするが、「処理場所」は、積算上の条件明示であり指定事項ではない。

【公害対策関係】

1. 公害防止（騒音・振動・粉じん等）のため、施工方法、機械施設・作動時間等の制限・・・・・・・・無
2. 第三者に被害を及ぼすことの懸念・・・・・・・・無

【工事支障物件関係】

1. 地上、地下等の支障物件・・・・・・・・無
2. 地上、地下等の占用物件工事と重複施工・・・・・・・・無

【排水工（濁水処理を含む）関係】

1. 濁水、湧水等の処理対策の指定・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 3災(農)

第307-101号

明示事項(説明書)

【現場環境改善関係】

1. 現場環境改善費・・・・・・・・無

【その他】

1. 工事用資機材等の保管指定・・・・・・・・無

2. 工事現場発生品の処理指定・・・・・・・・無

3. 支給資材及び貸与品・・・・・・・・無

4. 工事用電力等の指定・・・・・・・・無

5. 交通誘導警備員の配置・・・・・・・・無

施 工 条 件 明 示 書

工事番号 3災(農)

第307-101号

明示事項(説明書)

6. その他・・・・・・無

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
災害(総単、総単+積上)					
水路工					
土工	式	1			明細表 第1号
構造物撤去工	式	1			明細表 第2号
ブロック積工	式	1			明細表 第3号
水路枡	式	1			明細表 第4号
管路工	式	1			明細表 第5号
湧水処理工	式	1			明細表 第6号
摺付工	式	1			明細表 第7号

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水替工	式	1			明細表 第8号
仮設道路	式	1			明細表 第9号
直接工事費計					
共通仮設費率分	式	1			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費	式	1			
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等	式	1			

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格					
消費税等相当額					
請負工事費					

工 事 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
附帯工事費					
特別費目					

明細表 第 1号
土工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
掘削 土砂，現場制約あり	m3	14			施工P 第 1 号
床掘り 岩塊・玉石，現場制約あり	m3	6			施工P 第 2 号
埋戻し 現場制約あり，土砂，締固め有り	m3	17			施工P 第 3 号
積込(ルース) 土砂，小規模(標準以外)	m3	6			施工P 第 4 号
土砂等運搬 小規模，バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3)，土砂(岩塊・玉石混り土含む)，DID区間無し，2.5km以下	m3	6			施工P 第 5 号
積込(ルース) 土砂，土量50,000m3未満	m3	5			施工P 第 6 号
ダンプトラック運搬(標準以外) ダンプトラック4t積級，バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)，軟岩・硬岩以外，L=2.0km, DID区間:無	m3	5			単価表 第 1 号
1 式 当り					

明細表 第 2号
構造物撤去工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし 無筋構造物，人力施工	m3	0.1			単価表 第 2 号
積込(コンクリート殻) しない<標準>(全ての費用)	m3	0.1			施工P 第 7 号
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし，機械積込，DID区間無し，18.5km以下，しない<標準>(全ての費用)	m3	0.1			施工P 第 8 号
処分料 再資源化施設(無筋コンクリート) 再生骨材-41	m3	0.1			処分費
構造物とりこわし 鉄筋構造物，人力施工	m3	3.3			単価表 第 3 号
積込(コンクリート殻) しない<標準>(全ての費用)	m3	3.3			施工P 第 7 号
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし，機械積込，DID区間無し，18.5km以下，しない<標準>(全ての費用)	m3	3.3			施工P 第 9 号
処分料 再資源化施設(鉄筋コンクリート) 再生骨材-41	m3	3.3			処分費
1 式 当り					

明細表 第 3号
 ブロック積工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリートブロック積 練積，裏込コンクリート厚15cm，小型車加算有り(4t車)，18-8-40 高炉 W/C=60%以下， ブロック(滑面) 150kg/個未満	m ²	7			単価表 第 4 号
コンクリートブロック積 練積，裏込コンクリートなし，小型車加算有り(4t車)，18-8-40 高炉 W/C=60%以下，ブ ロック(滑面) 150kg/個未満	m ²	5			単価表 第 5 号
胴込・裏込材(碎石) 間知・平・連筋・緑化ブロック，再生クラッシュ RC-40	m ³	2			施工P 第 10 号
練積ブロック基礎(岩着) 小型車加算有り(4t車)	m	3			単価表 第 6 号
1号小口止 小型車加算有り(4t車)	箇所	1			単価表 第 7 号
2号小口止 小型車加算有り(4t車)	箇所	1			単価表 第 8 号
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運 搬有り，しなないく標準(全ての費用)，小型車加算有り(4t車)	m ³	0.2			施工P 第 11 号
1 式 当り					

明細表 第 4号
水路柵

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 無筋・鉄筋構造物，人力打設，21-12-25(20)(高炉)W/C=55%以下，一般養生，現場 内小運搬有り，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算有り(4t車)	m ³	5.5			施工P 第 14 号
型枠 一般型枠，鉄筋・無筋構造物	m ²	36			施工P 第 15 号
鉄筋工 SD295 D13，一般構造物，10t未満，週休2日補正:無	t	0.267			単価表 第 9 号
コンクリート 無筋・鉄筋構造物，人力打設，C=170kg/m ³ (高炉)，養生工無し，現場内小運搬有 り，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算有り(4t車)	m ³	0.3			施工P 第 16 号
型枠 一般型枠，均しコンクリート	m ²	0.5			施工P 第 17 号
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下，再生クラッシュラン RC-40，しなない<標準>(全ての費用)	m ²	6.4			施工P 第 18 号
1 式 当り					

明細表 第 5号
管路工

明細表

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ヒューム管(B形管) 据付,400mm,90°巻き,基礎砕石有り,外圧管1種,18-8-25(20)(高炉)W/C=60% 以下,しなれ<標準>(全ての費用),小型車加算有り(4t車)	m	1.1			施工P 第19号
硬質ポリ塩化ビニル管機械布設 VU-直管,φ=250mm,L=4m	m	8			単価表 第10号
塩ビ管用フランジ 250用,5K シングル構造(有孔管,無孔管)	個	2			
フランジ接合部品 ボルト・ナット:SUS,パッキン等,5K	組	1			
ソケット 250用	個	1			
硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU-直管,φ=200mm,L=4m	m	2.2			単価表 第11号
ソケット 200用	個	1			
45°エルボ 200用	個	1			
1 式 当り					

明細表 第 6号
湧水処理工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
暗渠排水管 据付,波状管及び網状管,50~150mm,継手材料不要,しない<標準>(全ての費用)	m	3			施工P 第 20 号
硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU-直管,φ=100mm,L=4m	m	1			単価表 第 12 号
塩ビ製継手(ソケット) VP100 DV	個	1			
フィルター材 コンクリート用骨材 砕石 40-5,しない<標準>(全ての費用)	m ³	0.2			施工P 第 21 号
吸出し防止材設置	m ²	3			施工P 第 22 号
1 式 当り					

明細表 第 8号
水替工

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU-直管、φ=200mm、L=4m、損料50%	m	28			単価表 第 14 号
ソケット 250用	個	3			
45°エルボ 250用	個	4			
22 1/2°ベント 250用	個	2			
11 1/4°ベント 250用	個	1			
1 式 当り					

明細表 第 9号
仮設道路

明細表

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
積込(ルース) 土砂,土量50,000m3未満	m3	115			施工P 第 6 号
ダンプトラック運搬(標準以外) ダンプトラック4t積級,バックホ 山積0.8m3(平積0.6m3),軟岩・硬岩以外,L=2.0km,DID区間:無	m3	115			単価表 第 1 号
整地 敷均し(ルース),狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)	m3	115			施工P 第 25 号
積込(ルース) 土砂,小規模(標準以外)	m3	115			施工P 第 4 号
土砂等運搬 小規模,バックホ山積0.13m3(平積0.1m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),DID区間無し,2.5km以下	m3	115			施工P 第 5 号
1 式 当り					

単価表 第 1号

ダンプトラック運搬(標準以外)

単価表

(10)

金額:

内容: ダンプトラック4t積級, バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3), 軟岩・硬岩以外, L=2.0 km, DID区間:無

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転(4t積級)	日	0.32			
諸雑費	式	1			
	(10	m3 当り)
	(1	m3 当り)
*** 施工条件 *** 運搬機種・規格 : ダンプトラック4t積級 積込機種・規格 : バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)					
土質区分 : 軟岩・硬岩以外 片道運搬距離 : L=2.0 km タイヤ損耗条件 : 良好					
DID区間の有無 : DID区間:無					

単価表 第 2号

構造物とりこわし

単価表

(1)

金額：

内容：無筋構造物，人力施工

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工 無筋構造物 人力施工 時間的制約:無	m3	1			
諸雑費	式	1			
	(1	m3 当り)
*** 施工条件 *** 構造物区分 : 無筋構造物 作業区分 : 人力施工					
時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準					

単価表 第 3号

構造物とりこわし

単価表

(1)

金額：

内容：鉄筋構造物，人力施工

1 m3 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工 鉄筋構造物 人力施工 時間的制約:無	m3	1			
諸雑費	式	1			
	(1	m3 当り)
*** 施工条件 *** 構造物区分 : 鉄筋構造物 作業区分 : 人力施工					
時間的制約の有無 : 時間的制約:無 作業時間帯 : 標準					

単価表 第 4号		コンクリートブロック積		単価表		(10)	
金額：		内容：練積，裏込コンクリート厚15cm，小型車加算有り(4t車)，18-8-40 高炉 W/C=60%以下，ブロック(滑面) 150kg/個未満				1 m ² 当り	
名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
ブロック積工 時間的制約:無	m ²	10					
ブロック 控35cm	m ²	10					
生コンクリート 18-8-40 高炉 W/C=60%以下	m ³	2.02			胴込コンクリート		
生コンクリート 18-8-40 高炉 W/C=60%以下	m ³	1.68			裏込コンクリート		
小型車加算 生コンクリート 4t車	m ³	3.7					
諸雑費	式	1					
	(10	m ² 当り)		
	(1	m ² 当り)		
*** 施工条件 ***							
空練区分		: 練積					
裏込コンクリートの有無		: 裏込コンクリート厚15cm					
小型車加算の有無		: 小型車加算有り(4t車)					
時間的制約の有無		: 時間的制約:無					
作業時間帯		: 標準					

単価表 第 4号

コンクリートブロック積

単価表

(10)

金額：

内容：練積，裏込コンクリート厚15cm，小型車加算有り(4t車)，18-8-40 高炉 W/C=60%以下，ブロック(滑面) 150kg/個未満

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
胴込・裏込コンクリートの規格 コンクリート積ブロックの規格 胴込コンクリートの設計数量					

: 18-8-40 高炉 W/C=60%以下
 : ブロック(滑面) 150kg/個未満
 : 標準(1.8m3/10m2)

単価表 第 5号

コンクリートブロック積

単価表

(10)

金額：

内容：練積，裏込コンクリートなし，小型車加算有り(4t車)，18-8-40 高炉 W/C=60%以下，ブロック(滑面) 150kg/個
未満

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ブロック積工 時間的制約:無	m ²	10			
ブロック 控35cm	m ²	10			
生コンクリート 18-8-40 高炉 W/C=60%以下	m ³	2.02			胴込コンクリート
小型車加算 生コンクリート 4t車	m ³	2.02			
諸雑費	式	1			
	(10	m ² 当り)
	(1	m ² 当り)
*** 施工条件 ***					
空練区分	: 練積				
裏込コンクリートの有無	: 裏込コンクリートなし				
小型車加算の有無	: 小型車加算有り(4t車)				
時間的制約の有無	: 時間的制約:無				
作業時間帯	: 標準				
胴込・裏込コンクリートの規格	: 18-8-40 高炉 W/C=60%以下				
コンクリート積ブロックの規格	: ブロック(滑面) 150kg/個未満				
胴込コンクリートの設計数量	: 標準(1.8m ³ /10m ²)				

単価表 第 9号

鉄筋工

単価表

(1)

金額：

内容：SD295 D13，一般構造物，10t未満，週休2日補正：無

1 t 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工(市場単価) 一般構造物	t	1.0			
異形棒鋼 D13 SD295A	t	1.03			
諸雑費	式	1			
	(1	t 当り)
<p>*** 施工条件 ***</p> <p>材料費(規格・径) : SD295 D13</p> <p>市場単価(規格・仕様) : 一般構造物</p> <p>市場単価(施工規模)全規格・径の合計 : 10t未満</p> <p>市場単価(時間的制約) : 時間的制約:無</p> <p>市場単価(作業時間帯) : 標準</p> <p>市場単価(トン内作業) : トン内作業なし</p> <p>市場単価(法面作業) : 法面作業なし</p> <p>市場単価(太径鉄筋の割合) : 太径鉄筋10%未満</p> <p>市場単価(構造物種別) : 一般構造物</p> <p>週休2日補正(標準の市場単価のみ) : 週休2日補正:無</p>					

単価表 第 10号

硬質ポリ塩化ビニル管機械布設

単価表

(10)

金額：

内容：VU-直管，φ=250mm，L=4m

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
硬質ポリ塩化ビニル管 VU-直管 φ250 4m/本	本	2.44			[1]
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
バックホリ運転(硬質ポリ塩化ビニル管布設)	日	0.08			
諸雑費 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)
*** 施工条件 *** 管種区分 : VU-直管 管径区分 : φ=250mm 管長区分 : L=4m 硬質塩化ビニル管の規格 : 建設物価10月号					

単価表 第 11号

硬質ポリ塩化ビニル管人力布設

単価表

(10)

金額：

内容：VU-直管，φ=200mm，L=4m

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
硬質ポリ塩化ビニル管 VU-直管 φ 200 4m/本	本	2.44			[1]
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
特殊作業員	人				
雑材料 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
諸雑費	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)
*** 施工条件 ***					
管種区分	: VU-直管				
管径区分	: φ=200mm				
管長区分	: L=4m				

単価表 第 12号

硬質ポリ塩化ビニル管人力布設

単価表

(10)

金額：

内容：VU-直管，φ=100mm，L=4m

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
硬質ポリ塩化ビニル管 VU-直管 φ100 4m/本	本	2.44			[1]
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
特殊作業員	人				
雑材料 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
諸雑費	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)
*** 施工条件 ***					
管種区分	: VU-直管				
管径区分	: φ=100mm				
管長区分	: L=4m				

単価表 第 13号

練石積工

単価表

(10)

金額：

内容：控25cm、小型車加算有り(4t車)

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
石積(張)(雑石)(石材材料費除く) 積工,練石	m ²	10			施工P 第 23 号
胴込・裏込コンクリート 積工,18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下,小型車加算有り(4t車)	m ³	1.22			施工P 第 24 号
諸雑費	式	1			
	(10	m ² 当り)
	(1	m ² 当り)

単価表 第 14号

硬質ポリ塩化ビニル管人力布設

単価表

(10)

金額：

内容：VU-直管、φ=200mm、L=4m、損料50%

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
硬質ポリ塩化ビニル管 VU-直管 φ 200mm、4m/本、損料50%	本	2.44			[1]
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
特殊作業員	人				
雑材料	%	2			対象額は摘要欄[1]の計
諸雑費	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)

諸 経 費 計 算 情 報

単価適用年月日	令和 4年 4月 1日
単価適用地区	安芸土木事務所 1 地区(南部地区)
工種区分	水路工事
I C T 補正 (3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理)	補正しない
施工地域・工事場所区分の補正 (共通仮設費)	中山間地域
除雪工事で営繕費の補正を行う場合の補正	補正しない
施工地域・工事場所区分の補正 (現場管理費)	中山間地域
堤頂20mの補正	補正しない
緊急工事の補正	補正しない
前払金支出割合	35%を超える (1.00)
契約保証に係る補正	補正しない
工事価格まるめ区分	万円まるめ
現場環境改善費の計上有無	計上しない
熱中症対策の補正有無	補正しない

公表単価一覧表

名称・規格1・規格2	単位	単価	摘要
塩ビ管用フランジ 250用、5K シングル構造(有孔管、無孔管)	個	11,840	明細表 第5号 見積
フランジ接合部品 ボルト・ナット:SUS、パッキン等、5K	組	17,600	明細表 第5号 見積
ソケット 250用	個	1,960	明細表 第5号 ほか 建設物価4月号
ソケット 200用	個	984	明細表 第5号 建設物価4月号
45°エルボ 200用	個	1,450	明細表 第5号 建設物価4月号
硬質ポリ塩化ビニル管 VU-直管 φ200mm、4m/本、損料50%	本	3,120	単価表 第14号 [1]
45°エルボ 250用	個	3,020	明細表 第8号 建設物価4月号
22 1/2°ヘンド 250用	個	12,500	明細表 第8号 建設物価4月号
11 1/4°ヘンド 250用	個	10,700	明細表 第8号 建設物価4月号
吸出し防止材 t=10mm、合成不織布	m ²	420	施工P 第22号 代表材料単価Z1

公表単価一覧表

名称・規格1・規格2	単位	単価	摘要
暗渠排水管 ネロンパイ、φ100、全面開孔	m	900	施工P 第20号 建設物価4月号
硬質ポリ塩化ビニル管 建設物価10月号	本	8,900	単価表 第10号

練積ブロック基礎(岩着)

公表歩掛

(1)

金額：

内容：小型車加算有り(4t車)

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物，人力打設，18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下，一般養生，現場内小運搬有り，しなない<標準>(全ての費用)，小型車加算有り(4t車)	m3	0.17			
諸雑費	式	1			
	(1	m 当り)

練石積工

公表歩掛

(10)

金額：

内容：控25cm、小型車加算有り(4t車)

1 m² 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
石積(張)(雑石)(石材材料費除く) 積工,練石	m ²	10			
胴込・裏込コンクリート 積工,18-8-25(20)(高炉)W/C=60%以下,小型車加算有り(4t車)	m ³	1.22			
諸雑費	式	1			
	(10	m ² 当り)
	(1	m ² 当り)

硬質ポリ塩化ビニル管人力布設

公表歩掛

(10)

金額：

内容：VU-直管、φ=200mm、L=4m、損料50%

1 m 当り

名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
硬質ポリ塩化ビニル管 VU-直管 φ 200mm、4m/本、損料50%	本	2.44			[1]
土木一般世話役	人	0.1			
普通作業員	人	0.22			
特殊作業員	人	0.16			
雑材料	%	2			
諸雑費	式	1			
	(10	m 当り)
	(1	m 当り)

UT：登録単価
YY：入力単価

登録単価・入力単価一覧表

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価	摘要
UT0001	塩ビ管用フランジ 250用、5K シングル構造(有孔管、無孔管)	個	11,840	明細表 第5号 見積
UT0002	フランジ 接合部品 ボルト・ナット:SUS、パッキン等、5K	組	17,600	明細表 第5号 見積
UT0003	ソケット 250用	個	1,960	明細表 第5号 ほか 建設物価4月号
UT0004	ソケット 200用	個	984	明細表 第5号 建設物価4月号
UT0005	45°エルボ 200用	個	1,450	明細表 第5号 建設物価4月号
UT0006	硬質ポリ塩化ビニル管 VU-直管 φ200mm、4m/本、損料50%	本	3,120	単価表 第14号 [1]
UT0007	45°エルボ 250用	個	3,020	明細表 第8号 建設物価4月号
UT0008	22 1/2°ベント 250用	個	12,500	明細表 第8号 建設物価4月号
UT0009	11 1/4°ベント 250用	個	10,700	明細表 第8号 建設物価4月号
YY0140	吸出し防止材 t=10mm、合成不織布	m ²	420	施工P 第22号 代表材料単価Z1

